内閣総理大臣杯争奪

第３７回日本車椅子バスケットボール選手権大会

個人トータル表

2008年5月2日　14時40分開始

決勝　東京体育館　Ｍ － ８

千葉ホークス（関　東）	46	10	1ｸｫｰﾀｰ	17	58	◎ 宮城ＭＡＸ（東　北）
		15	2ｸｫｰﾀｰ	10		
		11	3ｸｫｰﾀｰ	10		
		10	4ｸｫｰﾀｰ	21		

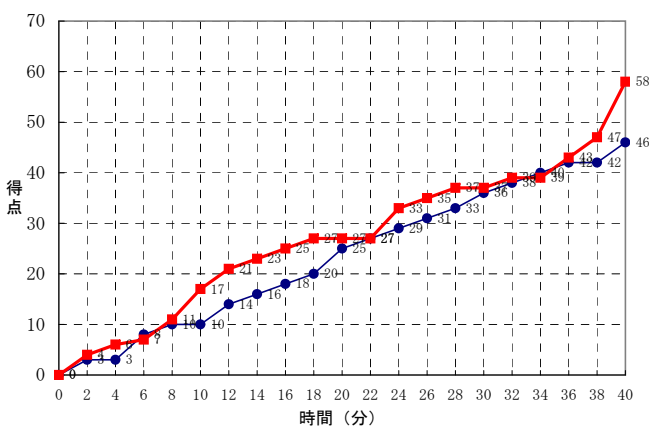
番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
4	千田　佳輝（2）	－	－	－	－	－	－	－
5	森　泰誠（2）	－	－	－	－	－	－	－
6	下村　浩之（1）	－	－	－	－	－	－	－
7	田中　恒一（3）	0	0	0	0	－	－	2
8	坂井　大（2.5）	－	－	－	－	－	－	－
9	阿部　匡志（2）	0	0	0	0	－	－	2
10	千脇　貢（2.5）	－	－	－	－	－	－	－
＊ 11	香西　宏昭（3.5）	17	1	7	0	－	－	4
12	田仲　幸生（1.5）	－	－	－	－	－	－	－
＊ 13	森　紀之（2）	6	0	3	0	－	－	0
＊ 14	鈴木　明将（3.5）	14	1	5	1	－	－	5
＊ 15	京谷　和幸（1）	2	0	1	0	－	－	4
＊ 16	伊東　容臣（4）	7	0	2	3	－	－	4
ｺｰﾁ	猪田　博敏							
Aｺｰﾁ								
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	牛込　公一							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	左東　摩子							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	浪川　明美							
合　計		46	2	18	4	0	0	21

番号	氏　名（持ち点）	得点	3P	2P	FT	RB	AT	反則
＊ 4	向後　寄夫（2）	3	0	0	3	－	－	2
5	高橋　浩則（2.5）	0	0	0	0	－	－	0
6	三浦　裕也（3）	－	－	－	－	－	－	－
7	大槻　智志（4）	－	－	－	－	－	－	－
8	加藤　芳博（2.5）	－	－	－	－	－	－	－
＊ 9	中澤　正人（4）	10	0	5	0	－	－	2
＊ 10	東海林　和幸（1.5）	7	0	2	3	－	－	1
＊ 11	藤井　新悟（1.5）	12	0	6	0	－	－	0
12	佐藤　正哲（2）	－	－	－	－	－	－	－
＊ 13	藤本　怜央（4.5）	26	0	10	6	－	－	4
14	椎名　光男（3）	－	－	－	－	－	－	－
ｺｰﾁ	岩佐　義明							
Aｺｰﾁ	石川　大介							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	橘　香織							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	会田　優							
ﾏﾈｰｼﾞｬｰ	鈴木　浩介							
合　計		58	0	23	12	0	0	9

主審：　杉山兼芳

副審：　門川浩人

副審：　岸良太郎



〔 戦　評 〕

四連覇を目指す千葉ホークス、初優勝を目指す宮城ＭＡＸ、お互い走るバスケをモットーにしているチーム同士の決勝となった。千葉ホークス⑪香西、⑭鈴木、⑮京谷、⑯伊藤、宮城ＭＡＸ④向後、⑨中澤、⑩東海林、⑪藤井、⑬藤本のスタート。

１Ｑ：ホークス⑭鈴木、ＭＡＸ⑬藤本のタップオフ、ＭＡＸがボールをキープし、⑬藤本のシュートで先制。ホークス⑭鈴木フリースローにて1本返すも、ＭＡＸ⑨中澤がシュートが決まる。ホークスは⑪香西のシュートで対するも、ＭＡＸ⑪1藤井のシュートで6－3とリードする。ホークス⑮京谷のアシストから⑯伊藤のシュートが入り、1点差とする。リードを奪いたいホークス、リードを広げたいＭＡＸ、お互い得点を加えられず試合が進む。ホークス⑪香西の３Ｐでリードするが、すかさずＭＡＸ⑨中澤が返してＭＡＸのリード。ＭＡＸ⑪藤井、⑨中澤、⑬藤本のシュートが決まりリードを広げ、宮城ＭＡＸ17－10と7点リードで１Ｑ終了。

２Ｑ：ホークスボールでスタート、ホークス⑪香西のシュートが決まり追い上げたいところだが、ＭＡＸ⑪藤井のスピードある攻撃でリードを保つ。ホークスも⑬森のシュートで追う。好調のＭＡＸ⑬藤井のシュートが決まり、ＭＡＸ23－14と9点リードする。ホークス、オールコートマンツーマンディフェンスでプレッシャーをかけ、ＭＡＸはなかなかシュートできない。ホークスもシュートは決まらず得点が止まる。ホークス⑮京谷のシュートで5点差、更に⑭鈴木の3Pシュートで2点差。宮城ＭＡＸ27－25, 2点リードで２Ｑ終了。

３Ｑ：宮城ＭＡＸボールでスタート。ターンオーバーからホークス⑪香西がレイアップシュートを決め、同点。お互い一歩も譲らない攻防が続く。ＭＡＸ⑬藤本, ホークス⑪香西が互いに得点を加えていく。ＭＡＸ⑬藤本フリースローも2本決と沈め、リードを広げる。ＭＡＸ⑪藤井のシュートが決まり、1点差。ＭＡＸ37－36、1点リードで３Ｑ終了。

４Ｑ：ホークスボールでスタート。激しい攻防で試合が進むも、ホークス⑯伊藤のカウントシュートが決まりリードする。ホークス⑭鈴木の素晴らしいシュートブロック、しかしＭＡＸ⑪藤井のドライブインシュートが決まり、再びＭＡＸリード。すかさず、⑮京谷のミドルシュートが決まり、再びホークスリード。ＭＡＸ⑩東海林の速い攻撃で再びリード、ホークスも⑭鈴木がシュートを決め、リードを奪う。ＭＡＸ⑬藤本、⑪藤井のコンビネーションプレーで返し、更に⑬藤本のミドルシュートリードを広げる。残り1分57秒、ＭＡＸ7点リードしたところで、ホークスタイムアウト。追い上げたいホークス、しかし⑨阿部アンスポーツマンファールがあり、ＭＡＸ⑬藤本のフリースローが決まり8点リードとなる。ＭＡＸ⑬藤本、⑪藤井フリースローを1本ずつ決め、10点差とし、残り1分を切る。ホークス、ファールゲームとし必死の攻撃だが、ＭＡＸフリースローを着実に決め、リードを広げ58－46で宮城ＭＡＸの初優勝となった。

（担当：松木／鳥越／堀江）